

北海道旭川東高等学校〈全日制〉令和7年度学校経営シラバス

スクール・ミッション

- (1) 変化する社会に対応するため、幅広い知識と教養を身に付け、他者と協働して課題解決を図ろうとする生徒の育成。
- (2) 学校標語「シマレ ガンバレ」に基づき何ごとにも全力を尽くす精神を涵養し、日本及び国際社会の問題や課題を予見・解決し、新たな価値を創造できる有為な人材の育成。

育成すべき生徒像

- (1) 自らの感性や創造性を磨き、自分の人生や社会とのつながりを実感できる生徒。
 - (2) 自らの能力を引き出し、その能力をもって将来遭遇する諸課題を主体的に協働して解決することのできる生徒。
 - (3) 心豊かで、リーダーシップを発揮して行動できる生徒。
- 身に付けさせるべき8つの力（旭東 DP ティプロマボリシー）
- ①認知力 ②分析力 ③思考力 ④表現力 ⑤共感力 ⑥探究力 ⑦行動力 ⑧創造力

- 経営方針**
- 1 スクール・ミッションを果たすため、保護者等や地域と協働して不断の改善を行う。
 - 2 今日課題の解決に積極的に取り組む。（授業改善、学校 DX、働き方改革、Well-being の向上）
 - 3 教職員が「学び、学び合う」学校、生徒が主語になる学校づくりに努める。

教育活動

領域	中期目標	今年度目標	目標達成のための具体的方策・評価の観点	関連分掌等
学習指導	主体的に学びに向かう姿勢、基礎的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を育成するための教育環境の整備	適切なカリキュラム・マネジメントの実施	教職員は育成すべき生徒像や旭東 DP を踏まえてより実効性のある教育課程を見直し、編成するとともに、授業改善に組織的に取り組むことはできたか。	教務部、進路指導部、各教科
		生徒の学習の量的確保と質的向上、学び方の確立・実践	生徒は週 1000 分の学習時間の確保と質的向上に努めるとともに、自らの学び方を確立し実践できたか。	教務部、各教科、各学年
		指導と評価の一体化による学びの深化	教職員が指導と評価の一体化を図り、生徒が授業満足度を高めることで、自ら深く学ぼうとしていたか。	教務部、各教科
		生徒の生涯にわたり学びに向かう態度の涵養	生徒が「総合的な探究の時間」における見方・考え方を、学習や諸活動との往還をとおして生涯にわたる知的態度に発展・深化させることができたか。	教務部、各教科、生徒指導部、進路指導部
生徒指導	共通理解と生徒理解の上に立った自覚、責任ある、自立的・自主的な生徒の育成	基本的生活習慣の確立、社会性や自立心の獲得・向上	教職員による家庭や関係機関との連携、深い生徒理解の中で、生徒は基本的な生活習慣を確立し、社会性を培い、自立心を向上することができたか。	生徒指導部、保健相談部、各学年
		未然防止	教職員の法令等に基づく発達支持的・課題予防的指導のもと、生徒は事故の未然防止に継続的に取り組んでいたか。（いじめ防止、情報機器使用のマナーやモラルの向上、貴重品管理、交通安全等）	生徒指導部、保健相談部、各学年
		事後対応	教職員は事故発生時に早期発見と適切で迅速かつ組織的な対応に努め、また課題を明確にして再発防止に努め、通常の学校生活を早期に取り戻すよう取り組めたか。	生徒指導部、保健相談部、各学年
		特別活動や諸活動への参加	生徒は旭東 DP の獲得、豊かな心の育成及び心身の健康の維持・増進のため、特別活動や部・局活動に積極的・主体的に参加していたか。	生徒指導部、保健相談部、各学年、各部局顧問
		部活動の在り方に関する理解と改善	「道立学校に係る部活動の方針」を踏まえた本校の活動方針の周知、理解を深めるとともに、本校の持続可能な部活動の在り方について検討が進められたか。	生徒指導部、各部局顧問
進路指導	進路意識の高揚と実力養成による生徒の進路実現	体系的・継続的な進路指導	生徒の将来の希望を踏まえた体系的・継続的な進路指導をとおして、生徒は着実な成長を図りつつ確かな学力を身に付けることができたか。	進路指導部、各学年、各教科
		的確な情報提供と関係機関との連携	教職員の的確な情報提供や関係機関との連携の強化によって、進路シラバスに従い、生徒は学年ごとの目標を目指して進路意識を高揚することができたか。	進路指導部、各学年、各教科
		キャリアガイダンスの活用	生徒は充実したキャリアガイダンスを活用して、早期の進路目標設定と自らが目指す進路実現を着実に図っていたか。	進路指導部、各学年、各教科
		実力養成指導	教職員の豊富な経験とデータ等に基づく実力養成指導をとおして、生徒は必要な資質・能力を身に付け、進路実現に向けて意欲的に取り組んでいたか。	進路指導部、各学年、各教科
健康・安全指導	自他の生命を尊重でき、安全な環境整備のできる生徒の育成	安心安全の確保、生命の尊厳、道徳、倫理観の育成	生徒は教育活動全体をとおして、学習環境の保全と安全意識を高揚し、実践的態度を身に付けるとともに、自他の生命を尊び、成長に合った道徳観や倫理観を育てることができたか。	全分掌、各学年、各教科、各部局顧問
		教育相談機能の充実と自己管理能力の育成	教職員は生徒が心身ともに健康を維持できるよう関係機関と連携し、教育相談体制の充実を図る中で、生徒自身が成長に合った自己管理能力を身に付けることができたか。	保健相談部、生徒指導部、各学年
		特別支援教育の理解と充実	教職員の特別支援教育への理解促進とカウンセリングマインド向上を図り、生徒が困り感を抱えている場合、相談活動をとおして解消に向けて生徒とともに取り組むことができたか。	保健相談部、教務部、生徒指導部、各学年、各教科

学校経営

領域	中期目標	今年度目標	目標達成のための具体的方策・評価の観点	関連分掌等
地域から信頼される学校づくり	保護者等や地域との協働	学校評価の活用	学校評価を真摯に受け止め、具体の改善につなげることができたか。	全分掌、各学年、各教科
		積極的な情報発信	教育活動を適宜配信し、中学生、保護者等、地域のニーズに応える発信ができていくか。	全分掌
		保護者等のニーズ把握	保護者等との意見交換の機会を増やし、ニーズを把握し、協力和支援を得ながら理解を深めることができたか。	総務部、関係分掌、各学年
組織運営	今日的課題への対応	会議等の効率化	ICT 機器の活用、資料の事前配布や説明の簡略化など、あり方や進め方を含めて効率的な会議となっているか。	総務部
		校内組織の見直し	組織や構成など校内体制の改善に向けた検討が行われたか。	総務部
		働き方改革の取組	教職員の意見を積極的に取り入れるなど、持続可能な学校体制の整備が図られたか。	総務部、関係分掌、各学年
教職員の資質向上	本校教職員としての自覚と責任の共有	授業研究・校内研修の充実	教職員自身が「学び、学び合う」ことができているか。生徒に教えたことが、生徒の学びにつながっているかを常に振り返って検証しているか。	管理職、教務部、各教科
		不祥事防止のための環境整備	教職員同士に嗜好や愚痴を吐露できるコミュニケーションがあり、不祥事が起こりにくい職場環境となっているか。	管理職、総務部